

降雪・凍結時期の交通安全

摩擦係数

0.7~0.9

乾燥路



0.2~0.4

圧雪路

3.2倍



0.1~0.2

凍結路

5.4倍



0.1未満

凍結路

(つるつる凍結路面)8.0倍

雪道は、圧雪路、シャーベット路、アイスバーン、ブラックアイスバーンの順で摩擦係数が低くなり、滑りやすくなります。雪が降り続くと、雪の下が氷となっていることもありますので、油断しないでください。



(注)摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほど滑りやすいことを意味する。

雪道は路面の摩擦係数が低いため、「急アクセル」はホイールスピンし、「急ブレーキ」は止まらない、「急ハンドル」は曲がりません。最近の車は、最新の安全装置や運転支援装置がある程度フォローしますが、これらの装置にも限界があります。

○ 路面が凍りやすい場所に注意

橋やトンネルのような風が通り抜ける場所は特に凍りやすく、カーブの先で日陰になっている場所は注意が必要な場所です。凍結しているかもしれないと意識しながら、十分に注意して走行しましょう。



ドライバーの皆さんへ!

○ 運転前の車両点検整備

- ① スタッドレスタイヤを装着したり、タイヤチェーンを積載しておきましょう。
- ② 燃料は余裕をもって給油しておきましょう。
- ③ 車に積もった雪、ガラスの霜や曇りは走行する前に取り除きましょう。



○ 運転上の注意

- ① スピードは控えめに、車間距離は長めに空けましょう。
- ② 轍にハンドルを取られないようにハンドルはしっかり持ちましょう。
- ③ ブレーキは早めに踏んでランプの点灯により後続車にこちらの意図を知らせましょう。
- ④ カーブや下り坂の前では、十分にスピードを落としましょう。
- ⑤ 下り坂はエンジembreキを使い急ブレーキは避けましょう。
- ⑥ 上り坂の途中で急加速するとタイヤが空回りして立ち往生の原因になるのでやめましょう。

スリップ事故を防ぐために!

- ゆっくり発進! 徐々に加速!
- エンジンブレーキ、ポンピングブレーキを活用!

